



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市入船町1番地
電話(53)3033-4
編集兼 杉本 一男
発行人
半年間 1,200円 送料共
振替口座番号
労金大牟田
0968946-005

身近かな要求を、みんなまで

労協・福利厚生への闘い

二月初旬、要求書提出、中旬から交渉

景気が落ちこんで、個人消費も度々減るなかぎりながら、労働低迷をいつけています。政府・財 者の賃金は抑制するという姿勢を、軍事支出、福祉後退の新年 強めています。

八二春闘は、この賃金抑制を打ち破らなければ成功しませんし、労働組合のたたかいが重大なカギを握っています。三池労組では、毎年春闘を目前に控えて

の改善もできません。それだけに今年の春闘での全労働者と、労働組合のたたかいが重大なカギを握っています。三池労組では、毎年春闘を目前に控えて

公判お知らせ
三池大災害裁判公判
二月二十二日午後一時から、福岡地方裁判所。(42回)
坑内火災裁判公判
三月四日午後一時から、同右裁判所。(35回)



整然とならぶ四山社宅。しかし空戸も多い。労働者の住いは快適というには程遠く、環境整備もおくれており、たたかいの成果が待たれる。

春闘目前

八二春闘へ始動

一月十九日、福岡県評の春闘討 姿勢です。たたかいは自ら切り 論集が開かれました。強調され 開いていかなければなりません。 たのは、攻めなければならぬ。 荒尾地評では、二月五日に荒尾 というところで、自からたたかう 地区春闘共闘会議を発足させま

八二春闘への課題―講師・梶原 崎事務局長、を皮切りに、二月 十四日までに七回にわたって労働 学校を開きます。 炭労では、二月四日の中央執行 委員会を春闘方針をため、中旬 ころから大衆討議を行ない、三月 十日の臨時大会で決定されます。



一步社宅の中に踏み入って見れば、近代化 など吹く風。窓のサツシは自前で入れ替えたもの。

情宣を計画し、ビラ、ステッカー 立看板、ニュースカー情宣などの アピールとともに、山場での実力 行使も行う予定です。

坑内便所が 他山にあった

技術的に困難な理由で、 拒みつけている坑内便所が、よ その炭鉱にあることが明らかにな りました。 坑内便所が設置されているのは 北海道の空知、赤平、砂川、岩別 の各炭鉱で、各部内に一カ所ずつ設 けられています。

諸休暇の取り 扱いにも差が

三池での結婚休暇、出産看護休 暇、転居休暇などは、健保の八十 パーセントですが、例えば太平洋 ではすべて平均賃金となっていま す。

こんなに違う 電力料金

電気で比較すると、三池の場 合は夏場が六十五KW、冬場が九 十KWまで無料ですが、芦別・砂 川では、他山・他産業との比 較で見ると、改善する点が多々 あります。都度、ビラなどでお 知らせします。

北炭 生産を再開

1月27日

北炭夕張の動きは急を上げてい ます。一月六日に組合に対し、直 を含むたたかいに取り組んでいま す。職員百五十四人、下請従業員 員約二百人の配転・出向と、賃金 の繰り延べなどを提案、十八日か ら西部区域の採掘を再開したいと してました。

安確保が前提として、中央行動 七日の全大会でようやく過半数 で会社案に同意することが決まっ ました。

しかし資金面での見直しは、生 産再開をしても自力では一月内に 再開することも困難です。

苦闘する現地

この再建計画について、札幌 山保安監署は、保安確保の面で 不十分として却下してました。

生産再開をめぐっては「夕張の 火を消すな」「政府と三井が金 任をもち」という激しい怒りが渦 巻きなで、当面の生活を守るこ と、遺体を早期に収容することな どの難問をかかえながら、十四日 支払いと今後の賃金の見直し、保

の代議員大会では結論を得ず、十 現地の報道は「八方ふさがりの

幌内 夕張 災害つづく

一月二十三日十三時三十分ごろ、夕 張新鉱マイナス六百北坑道で、運 送車、幌内炭鉱布引七片四層ロン グが、自走車設置中の田中岩雄 中、なんらかの事故により死亡さ れました。原因は不明とされてい ますが、坑道幅が極端にせまると ころといわれています。

地底

▼米國東部の アパラチア山脈に そったケンタッキ ー、ウエストバー ジニア、テネシー の三州の炭鉱で、 この六週間に六件の災害が続き、 死者は三十一人にのぼっているこ とを伝え聞いた。「炭鉱災害は防 ぎ得ないものなのか」、この古く て新しい問いに、企業と政府の責 任の追及と、働く者のたたかいし かないことをあらためて確認した い。

▼「お先き真つ暗といわれる夕 張新鉱。生産再開の道を選んだが 保安は万全なのか。一度と災害を 起こさないことこそ、第一義でな ければならない。ヤマの再建には なお曲折があるが、ほう大な資 産をもつといわれる炭原北炭会 長と会社、三井グループ。そして 政府は、再建への金責任を負わね ばならない。そのためのたたかい はこれからだ。今なお四十四人の 遺体は地底に沈んでいる。

▼「深刻な消費不況のもとでた たかれる八二春闘。「実質賃金 を引き上げ、冷え込んでいる内需 拡大を」という道理ある主張に対 してさえ、財界・日経連は賃金抑 制に固執する。就労人口の七割を 占める、労働者のフットロウ具合を よくすることこそ、経済危機を救 う道はないのか。

▼「自由と平和と繁栄を享受 しつつあるわが国は、世界のなか で最も恵まれた国」。どこの国の ことかといふが、なんの、なんの ことはない、わが国の首相が胸を 張ってホザいてくれた。なにかの 思い違いか、財界の親玉に替って の大言壮語なのであろう。

▼「小佐野判決について、若 狭に断罪。これで「元首相」も さびに窮地に。大小の灰色高官も 沈黙の態だが、問題は政治家と企 業の倫理である。自浄作用がなけ れば、われわれの手で墓場を作っ てやらねばならぬ。